

飯田善國が描いた風景

2019年5月～2019年10月



ミュンヘン市よりアルプスの眺め 1958年

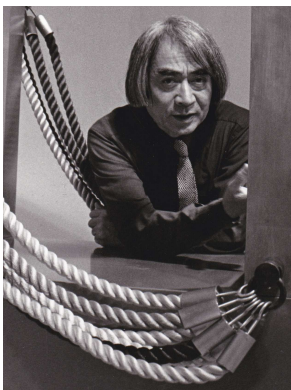


朝日 1955年



矢場川風景 ca1951年

飯田 善國 (いいた よしくに)



飯田 善國

1923 (大正 12) 年、栃木県足利市生まれ。

慶應大学高等部から学徒出陣し中国大陸へ。戦後は同大学に復学し西脇順三郎(詩人・英文学者)に師事。卒業後の1948(昭和23)年、東京芸術大学入学、油絵科で梅原龍三郎に師事。大学卒業後は個展・グループ展などで作品を発表。

1956(昭和31)年、小説家野上彌生子との縁でローマに留学しファツナーニのアトリエで初めて彫刻を学ぶ。その後ウィーンに移り1959(昭和34)年に抽象裸婦連作を描くと、本格的に彫刻に転じ、ウィーンやベルリンを拠点に活躍。1967(昭和42)年帰国。翌年の第一回神戸須磨離宮公園現代彫刻展で最高賞を受賞。木彫からブロンズ、ステンレスなどによる金属彫刻、さらに色彩と言語を独自のロジックで統合した「クロマトフィロロギア」による金属とロープの作品など、独自の造形を見せる彫刻作品で内外に広く知られる他、版画やコラージュなどの平面作品、ステンレスによる野外モニュメントも多数。1997年7月、日本経済新聞「私の履歴書」連載。2006(平成18)年・没[享年82歳]

館名変更のお知らせ

IIDA-KAN(館長:伊藤 光昌)は2018年7月に「TRIAD IIDA-KAN」へ館名を変更しましたのでお知らせいたします。

また あわせて、同敷地内にある「I-KKAN(株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズの研究棟)」及び「守衛棟(株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズの守衛所)」と合せた3棟の建築群「TRIAD」の運営組織を、株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ(代表取締役社長:長井 啓)から公益財団法人ハーモニック伊藤財団(理事長:伊藤光昌)へ変更いたしました。

飯田善國が描いた風景

小学校三年生の時、飯田が初めて風景を描くと

「君は未来の横山大観になれるかもしれんぞ」と先生に褒められました。この言葉は、生涯 飯田の心の深部に残っていたといえます。

飯田の作風は、繊細で瑞々しいタッチの水彩画から力強くデフォルメされた油彩画まで、同じ作家が描いたとは思えないほど変化に富んでおります。

今回は 当館初出展の作品を含め、少年時代からヨーロッパで活動していた時期までの約20年の間に飯田が描いた風景を展示しております。 2019年5月



■開館時間: 午前10時～午後4時・無休

■交通: [電車]JR 大糸線穂高駅から「株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ」を目的地に タクシーで15分
[車]長野自動車道安曇野インターより20分

■お問い合わせ: 〒399-8305 長野県安曇野市穂高牧 1856-1
公益財団法人ハーモニック伊藤財団 TRIAD IIDA・KAN
TEL 0263-83-6800(代) <http://www.hds.co.jp/>



TRIAD IIDA-KAN (とらいあど いいだかん)

20190516

ANZUMINO ART LINE
安曇野アートライン
当美術館は安曇野アートラインに参加しています